

ざいせうかい しんぶん かぞく ひと いっしょ よ くに  
\* 塚教会 CS 新聞「いずみのひろば」は家族の人と一緒に読んで下さい。

# いずみのひろば

2019年1月号  
日本基督教団塚教会  
No.482 教会学校



## 「その名はヨハネ」

ルカによる福音書一章57～66



イエス様が生まれる半年前にヨハネさんが生まれました。ヨハネさんは、預言者で神様の御用をする立派な人に育ちます。そんなヨハネさんが生まれる時に、不思議な出来事が起こりました。

ヨハネさんのお父さんは、祭司のザカリアさん。お母さんはエリザベトさんです。ある日ザカリアさんの前に天使のガブリエルさんが現れ「あなた達に男の子が生まれます。名前前はヨハネと名付けなさい。」と言いました。ザカリアさんは、「どうしてそんなことが、ありましようか？私にも妻もおじいさんとおばあさんになっています。」と言い、神様の話しを信じる事が出来ませんでした。天使ガブリエルは、「あなたは今から赤ちゃんが生まれるまで話すことが出来なくなります。神様のなさる事を信じなかったからです。」と言い帰って行きました。その時から、ザカリアさんは、話す事が出来なくなりました。

時がたち、エリザベトさんは、男の子を生みました。沢山の人が、お祝いに駆けつけてくれました。そして、生まれて8日がたち、赤ちゃんに名前を付ける日が来ました。回りの人達は、「名前前はザカリアにしよう。」と言いました。昔のユダヤでは、生まれた赤ちゃんにおじいちゃんやお父さん名前を付ける習慣がありました。しかし、エリザベトさんは言いました。「名前前はヨハネにします。」そして話す事の出来ないザカリアさんは、木の板に「名前前はヨハネ」と書いて周りの人に見せました。

二人は、神様の言いつけを守り「ヨハネ」と名付ける事ができました。そして、不思議な事がおこりました。ザカリアさんの声が再び出せるようになり、お話する事が出来るようになりました。

神様に見守られたヨハネさんは、すくすくと大きくなりイエス様のお手伝いをする立派な預言者になりました。

ヨハネさんだけではなく、教会学校に来ている私達も、神様がお母さんのお腹の中にいる時から見守り、導いてくれています。そして、大きくなった時に神様のお手伝いをしてくれるような人に成長してくれることを、楽しみにしてくれています。どんなお手伝いでも、神様は心から喜んで下さいます。その時まで、いつも側にいて必要な知恵と力を与えて下さいます。

(お話し 西崎千鶴子)

